

災害による死者0を目指す ～「死ぬな」・「逃げろ」・「助ける」～

徳田地区の防災対策

徳田公民館

えひめさんさん物産店
EHI ME SAN SAN MONOGATARI
TEL 074-20-1122

身元調査
おことわり
「身元調査おことわり」
運動をみんなで推進
しましょう。
西条市

平成31年3月25日（月）19：00～
徳田公民館

西条市 経営戦略部 危機管理課

本日の内容

1. 徳田地区の被害想定
2. 災害のイメージ
3. 共助による災害対策

1.徳田地区の想定される災害

- ・ **台風災害**

平成16年台風第21号 死者 5 名
災害復旧額 1 7 0 億円

- ・ **南海トラフ地震**

今後**30年以内**に発生する確率**70%~80%**
(南海トラフ巨大地震：土砂災害危険度ランクA)

- ・ **活断層（川上・小松断層）による地震**

例：阪神淡路大震災、熊本地震

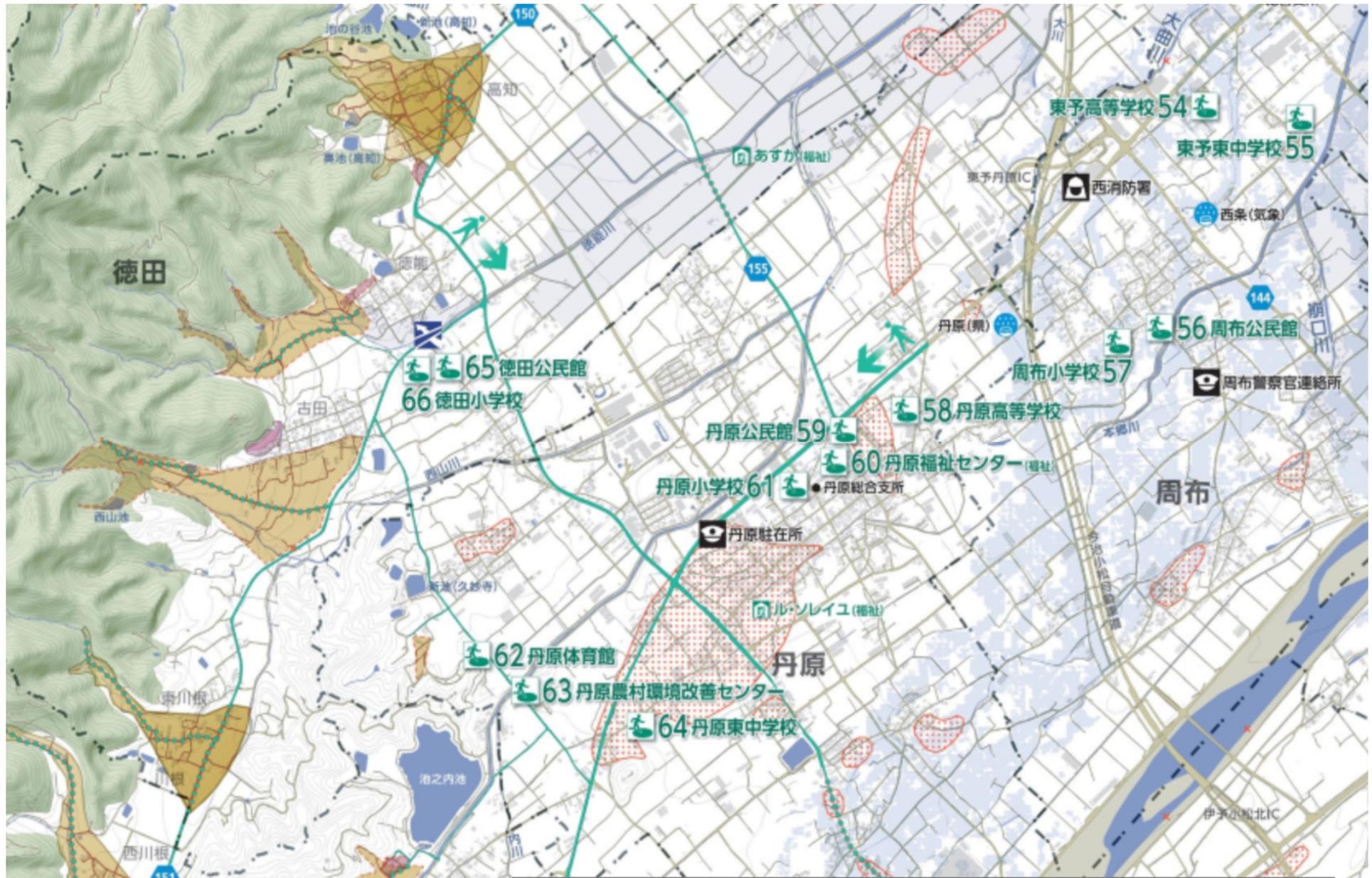
- ・ **火災、ゲリラ豪雨・・・**

西予市

肱川が氾濫し、野村地区
が水没 死者5名



土砂災害ハザードマップ(拡大)



西条市 ため池 ハザードマップ

さんのういけ 山王池

このマップは、山王池が決壊した場合にどのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

凡例

- 一時避難場所
(一時的に避難する広場・グラウンドなど)
- 国道・県道
- 到達時間
- 水部

土砂災害危険箇所

- 急傾斜地崩壊危険箇所
(愛媛県、平成11年度～12年度調査)
- 土石流危険渓流
(愛媛県、平成11年度～13年度調査)

河川 浸水想定区域 (浸水範囲)

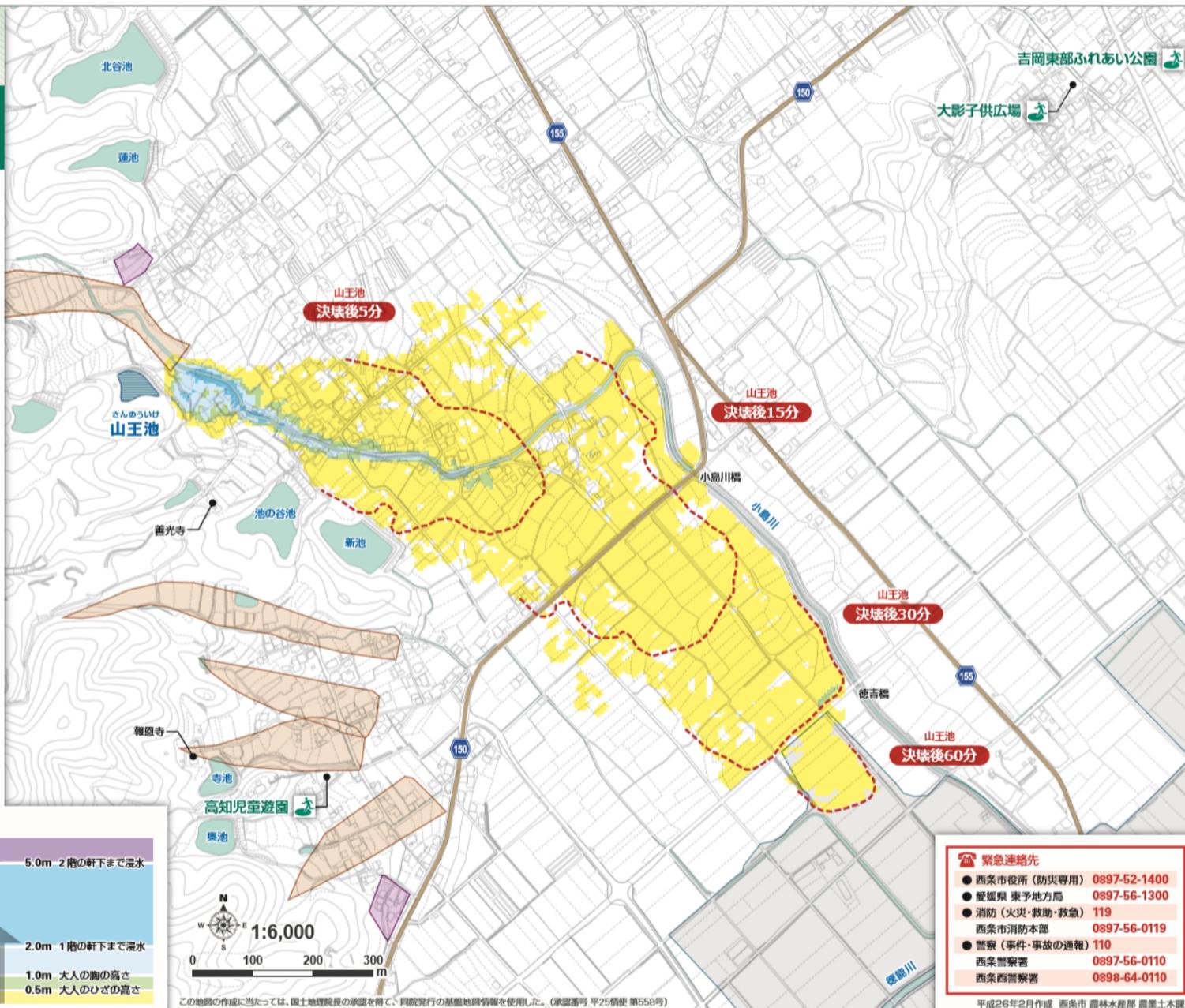
- 新川
(西条市、平成20年3月作成)



ため池 浸水想定区域 (最大浸水深)



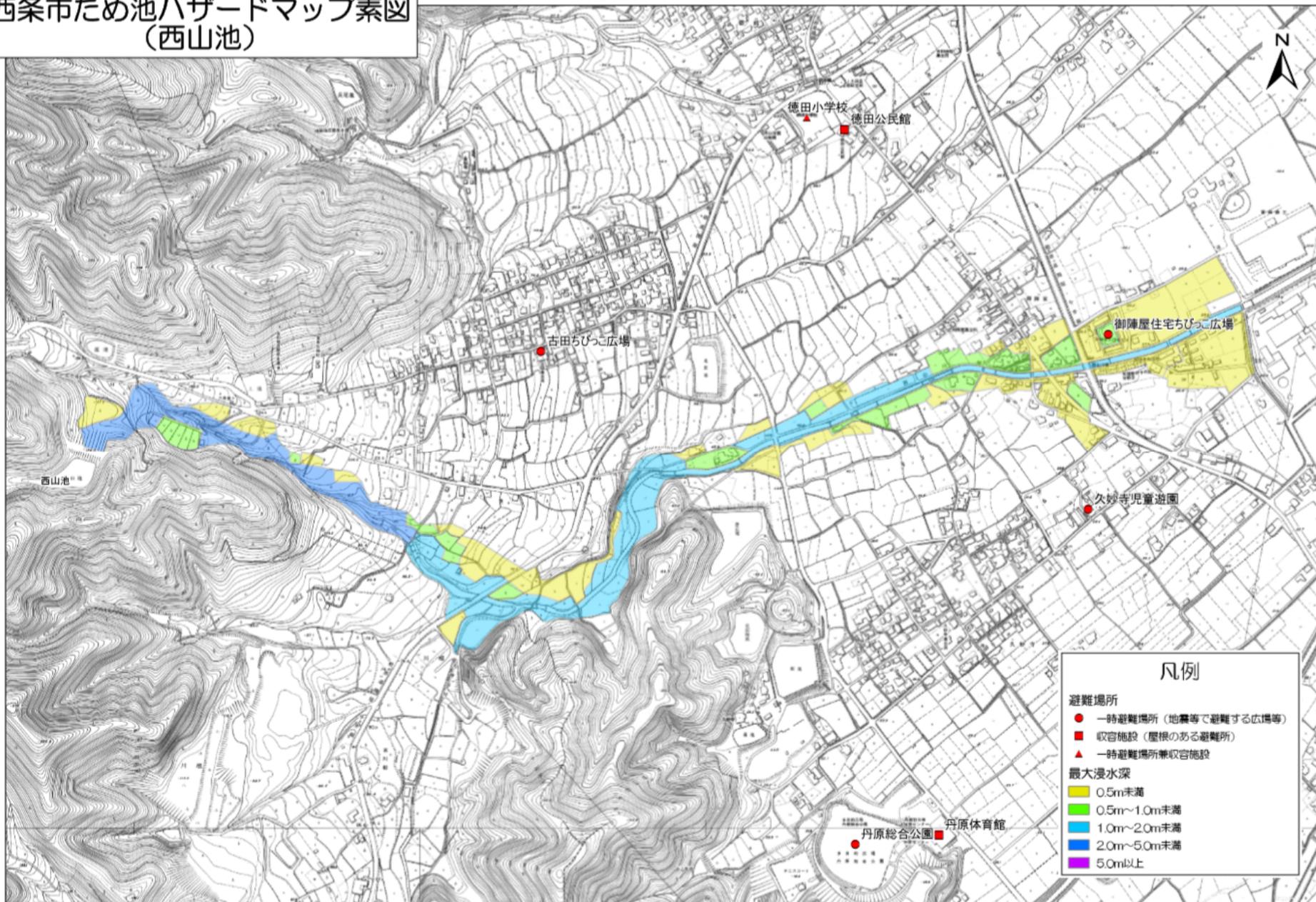
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用しました。(承認番号 平25情使 第558号)



- ### 緊急連絡先
- 西条市役所 (防災専用) 0897-52-1400
 - 愛媛県 東予地方局 0897-56-1300
 - 消防 (火災・救助・救急) 119
 - 西条市消防本部 0897-56-0119
 - 警察 (事件・事故の通報) 110
 - 西条警察署 0897-56-0110
 - 西条西警察署 0898-64-0110

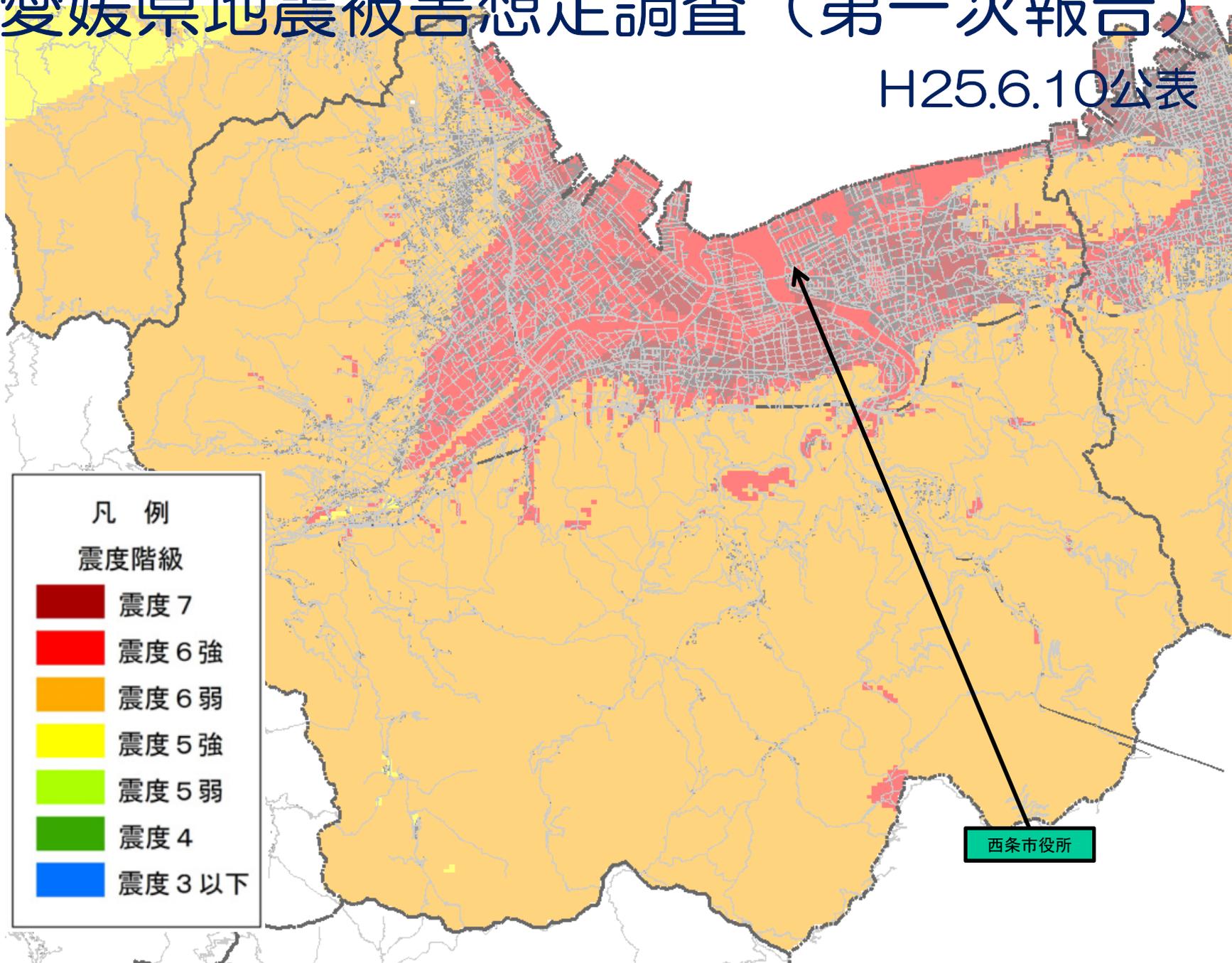
平成26年2月作成 西条市 農林水産部 農業土木課

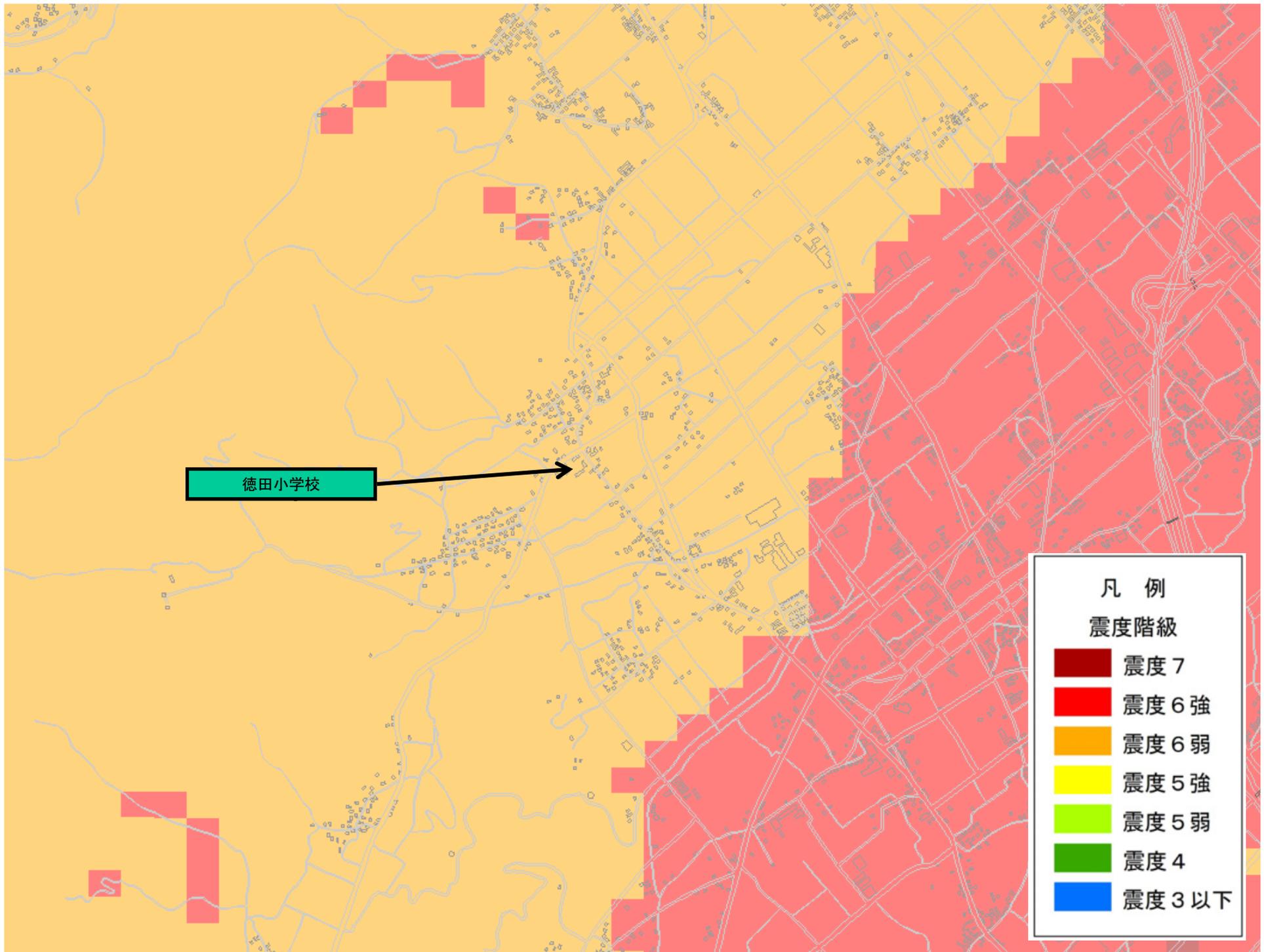
西条市ため池ハザードマップ素図 (西山池)



愛媛県地震被害想定調査（第一次報告）

H25.6.10公表

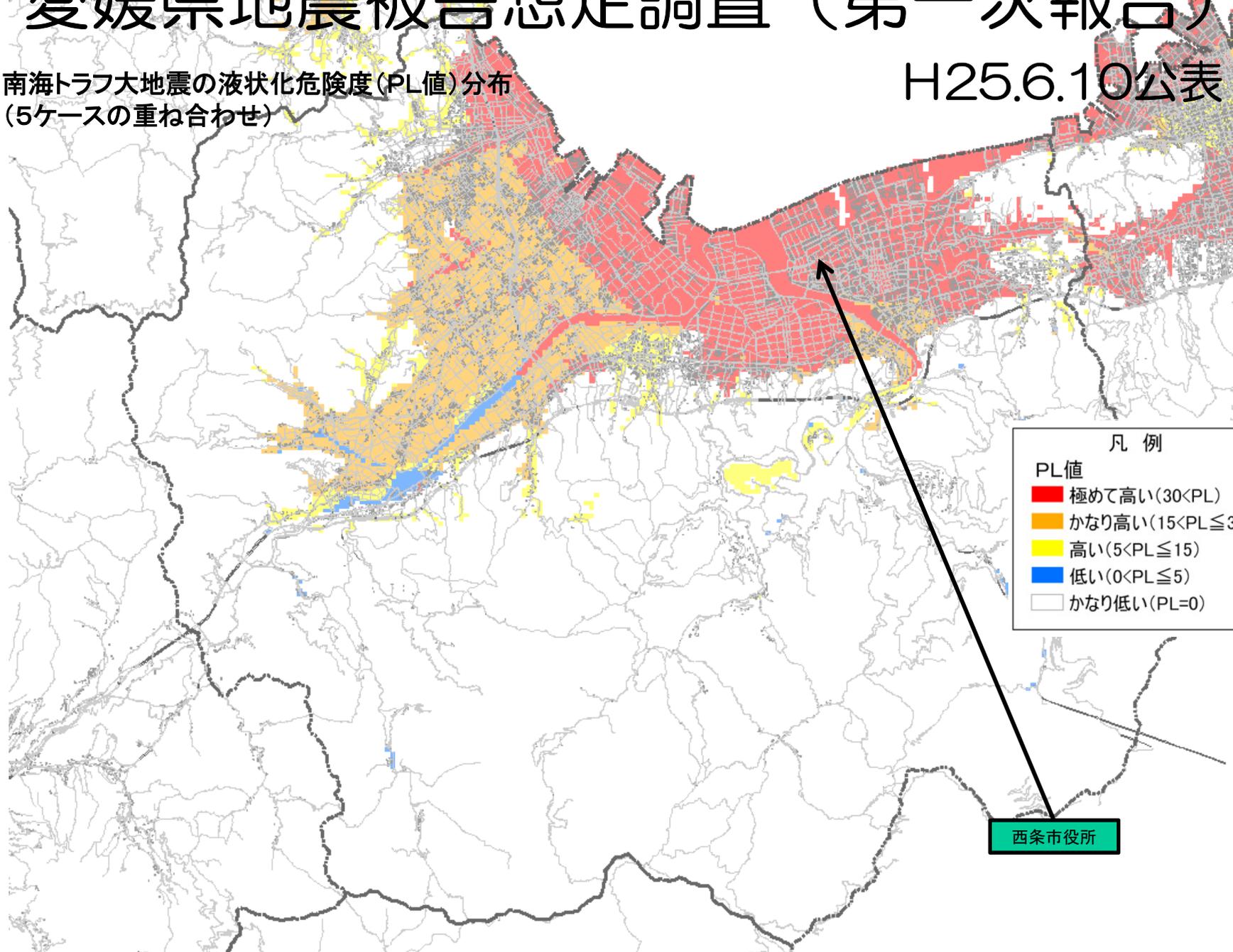




愛媛県地震被害想定調査（第一次報告）

南海トラフ大地震の液状化危険度(PL値)分布
(5ケースの重ね合わせ)

H25.6.10公表





凡例

PL値

■ 極めて高い(30<PL)

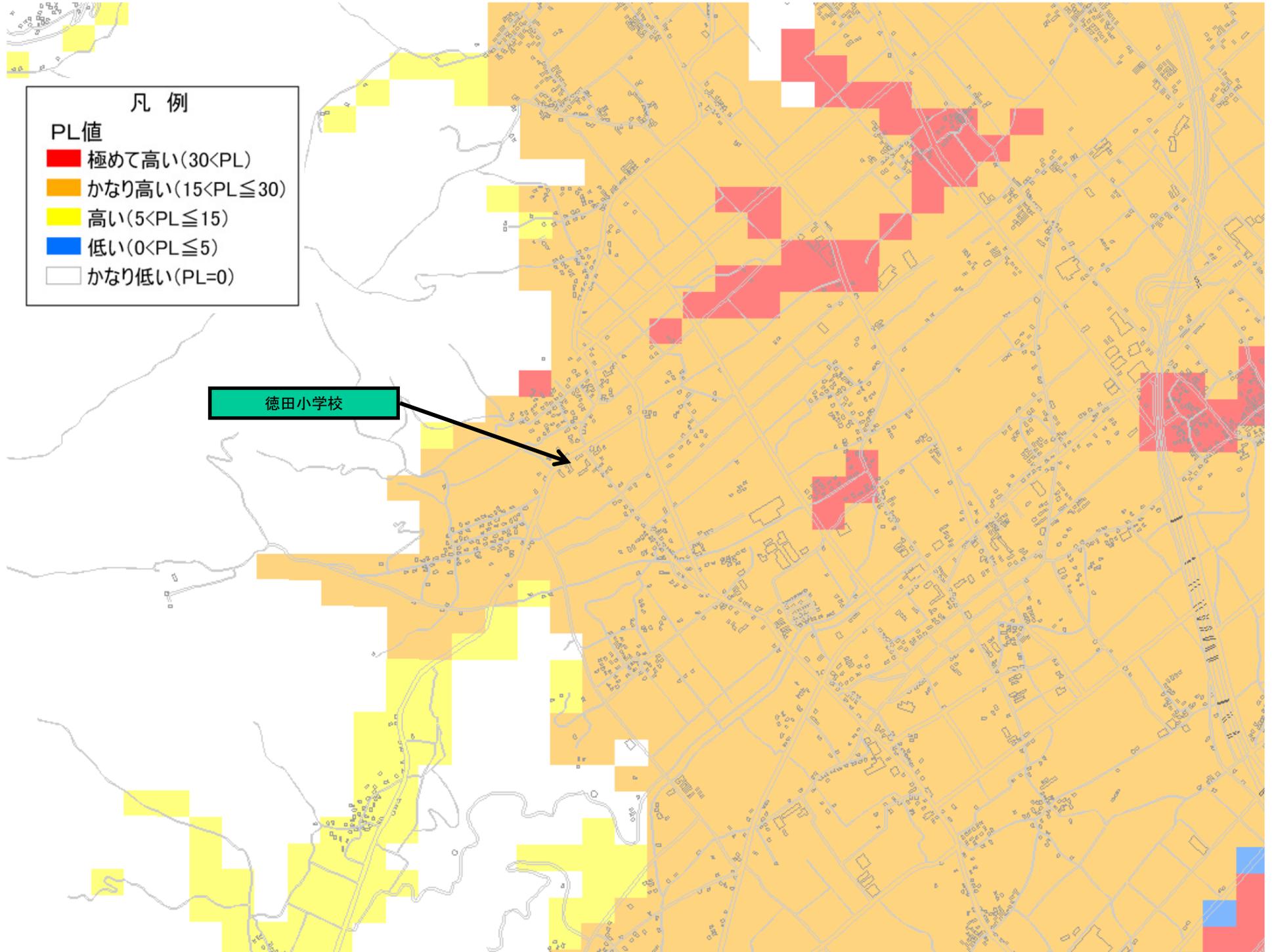
■ かなり高い(15<PL≤30)

■ 高い(5<PL≤15)

■ 低い(0<PL≤5)

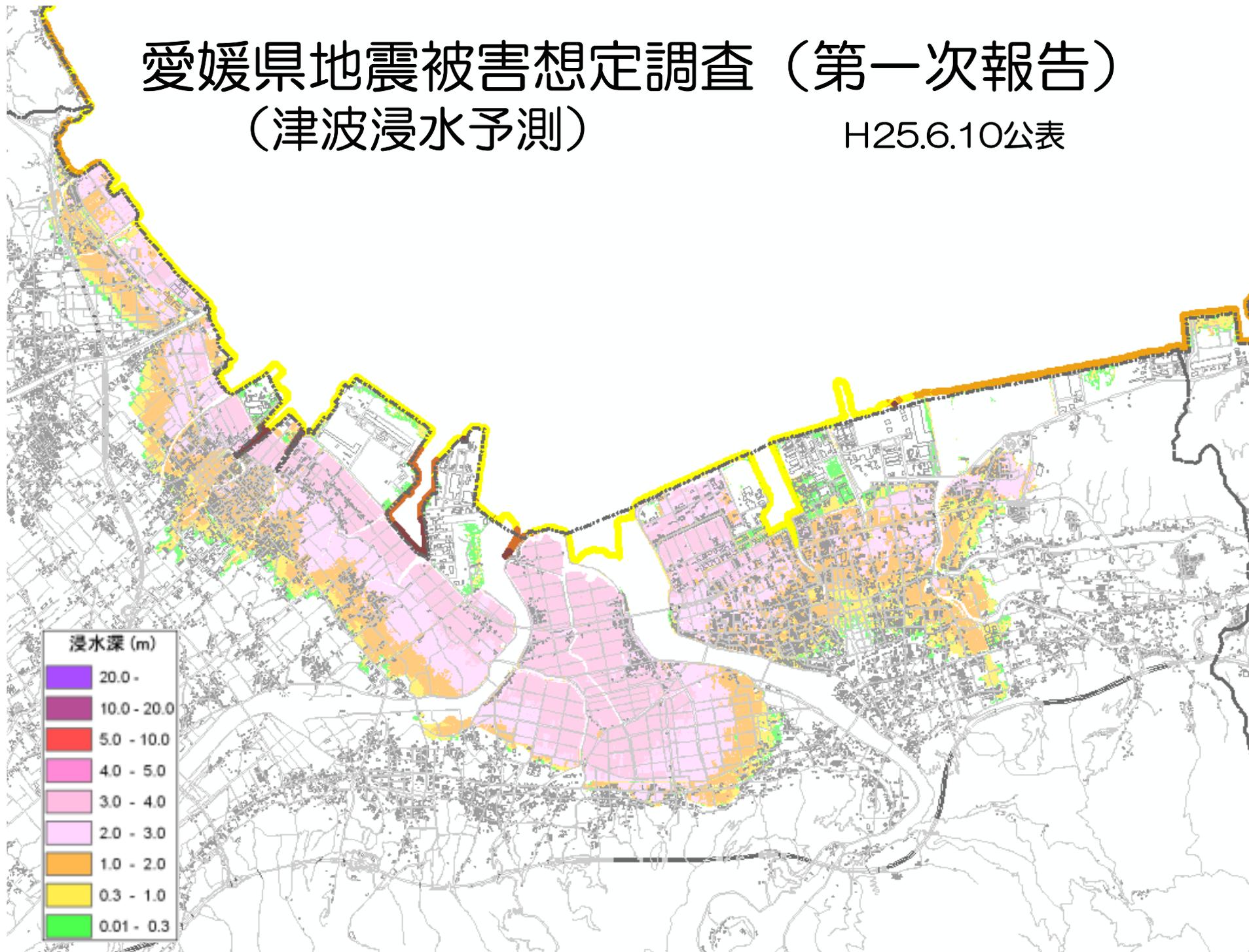
□ かなり低い(PL=0)

徳田小学校



愛媛県地震被害想定調査（第一次報告） （津波浸水予測）

H25.6.10公表



各想定地震による西条市の震度・液状化・土砂災害 の想定結果(西条市)

愛媛県地震被害想定H25.6.10公表

No	想定地震	震度	液状化 (PL値)	急傾斜	山腹 崩壊	地すべり		
						砂防	森林	農地
①	南海トラフ巨大地震(M9.0)	7	77	A	A	A	A	A
②	芸予地震(M7.4)	6弱	41	A	B	B	B	B
③	讃岐山脈南縁ー石鎚山脈北縁東部の地震(M8.0)	6強	64	A	A	A	A	B
④	石鎚山脈北縁の地震(M7.3)	6強	69	A	A	A	A	A
⑤	石鎚山脈北縁西部ー伊予灘の地震(8.0)	7	67	A	A	A	A	A

【PL値と液状化危険度の関係】

30.0 < PL : 液状化危険度は極めて高い
 15.0 < PL ≤ 30.0 : 液状化危険度はかなり高い
 5.0 < PL ≤ 15.0 : 液状化危険度は高い
 0.0 < PL ≤ 5.0 : 液状化危険度は低い
 PL = 0.0 : 液状化危険度はかなり低い

【土砂災害危険度ランク】

A : 危険度が高い
 B : 危険度がやや高い
 C : 危険度が低い

南海トラフ巨大地震による西条市の 建物被害・人的被害の想定結果

愛媛県地震被害想定H25.12.26公表

① 建物被害

西条市全建物数：85,887棟 冬18時、強風) 単位：棟

	揺れ	液状化	土砂災害	津波	火災焼失	合計
全壊棟数	14,574	1,466	12	3,890	13,191	33,132
半壊棟数	11,832	1,866	29	3,814	-	17,541

※ 木造建物数61,826棟、内昭和55年以前建築建物数39,124棟

② 人的被害

西条市人口：112,091人 ※H22国勢調査より 冬深夜、強風 単位：人

	建物倒壊	うち屋内 収容物	土砂災害	津波	火災	合計
死者	826	47	1	2,592	230	3,648
負傷者	5,179	700	1	82	121	5,383
要救助者	2,373			49		
要搜索者				2,674		

※ 合計数値については、小数点以下の取扱(調整)により、値が合わない場合があります。

(3) ライフライン被害

条件：直後・冬18時・強風

上水道		下水道		電力	
断水人口	断水率	支障人口	支障率	停電軒数	停電率
55,957 人	99.8 %	63,845 人	99.8 %	59,329 人	99.8 %

固定電話		LPガス	
不通回線数	不通回線率	容器転倒戸数	ガス漏洩戸数
41,317 回線	95.3 %	1,365 戸	963 戸

(4) 交通施設被害

道路	鉄道	港湾	漁港
被害箇所数	被害箇所数	被害箇所数	被害箇所数
23 箇所	64 箇所	53 箇所	5 箇所

H16 新潟県中越地震

土砂崩れ



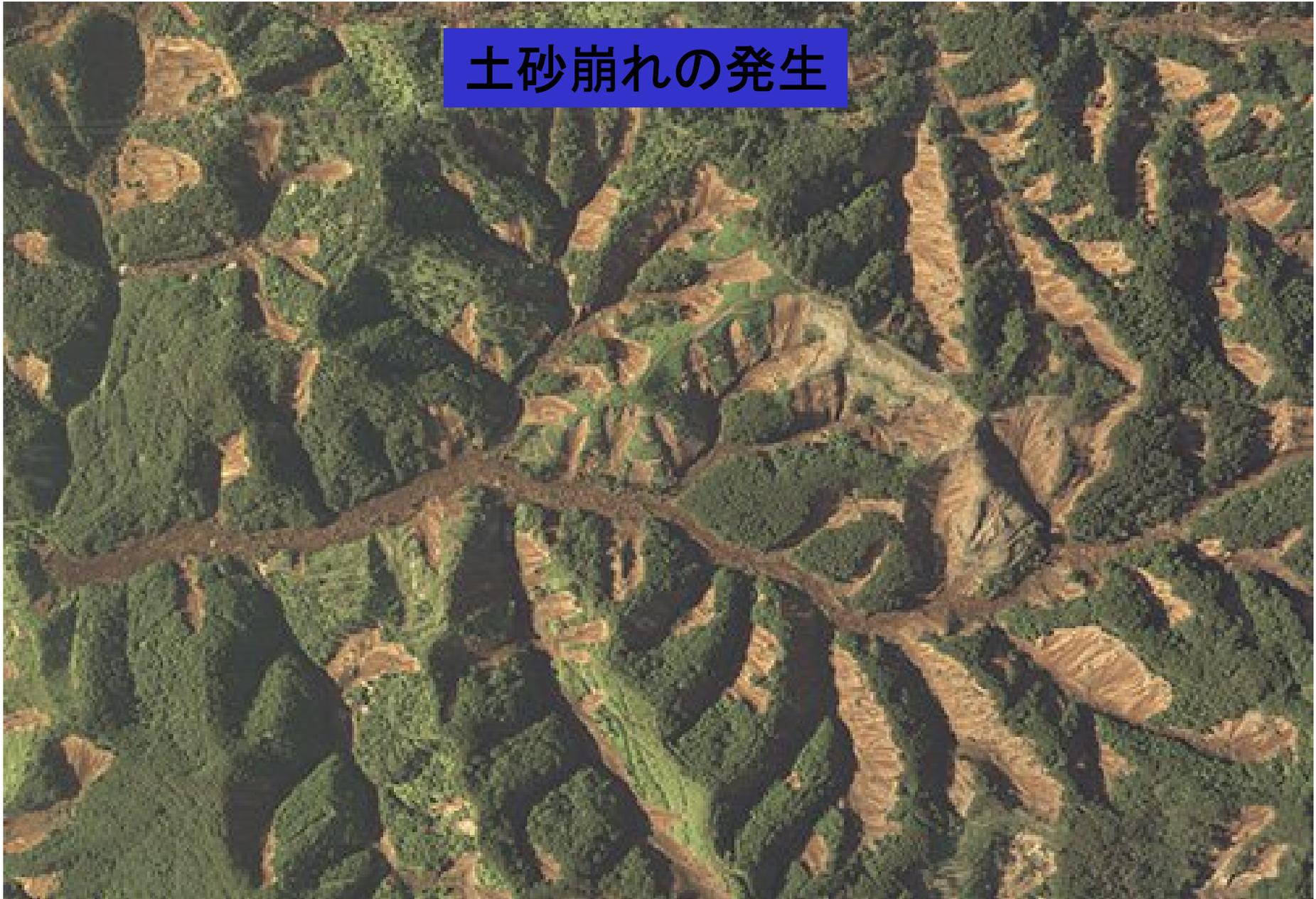
北海道胆振東部地震による被害

土砂崩れの発生



北海道胆振東部地震による被害

土砂崩れの発生



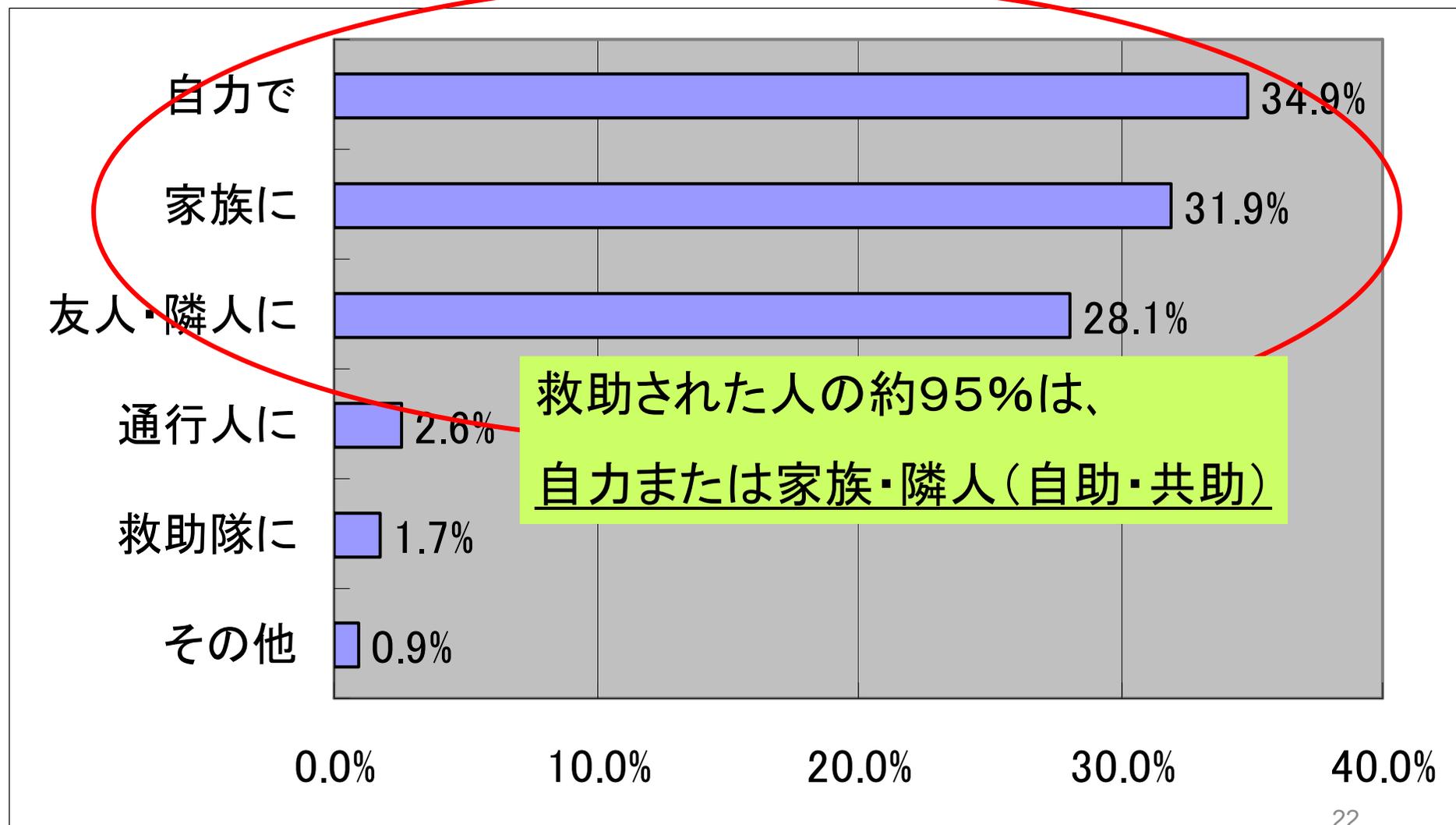
「共助」



「自助」のみでは限界がある
自分たちの町は、自分たちで守る！
「隣近所の力の方があてになる（即応性）」
共助の基本的な姿は、自主防災組織
一人の百人力より、百人の一人力

救出・救助にあたったのは

生き埋めや閉じ込められた際の救助(誰に助けられたか)



阪神・淡路大震災の重要な教訓

1 コミュニティの重要性

救助活動に当たった際、どこに、誰がいるかわからない

近所付き合いがない・・・情報が入らない

2 助け合いの必要性

震災直後の救出・救助活動

3 普段の意識（備えの大切さ）

地震に対する備えがなかった（神戸で地震が起こるとはおもっていない）



教訓を活かそう

人、一人助けるのに10人の力が必要

スーパーマンでもない限り、一人では助けられない

隣近所の助け合いがないと、救助活動、避難所生活はできない



情報収集に基づき捜索救助

地域との交流及び訓練への参加

できるだけ地域(近所・町内会等)との交流を持つ(顔なじみを作る)
地域の防災訓練には、できる限り参加することが大事

- 災害は、予告なしに突然発生する。
- 初動時の現場の情報がゼロである。
- 規模が急速に拡大し、状況が刻々変化する。
- **付近の人はパニック状態**に陥っている。
- 人命の危険を伴い、二次災害の発生危険がある。

このような状況では・・・

- ◎ 普段やっていることしかできない
- ◎ 普段やっていることも満足にできない
- ◎ 普段やっていないことは絶対にできない



それなら・・・！！

訓練で、疑似体験をする(イザに備える)家族も一緒に参加

- 避難経路の確認
- 防災手帳を持って参加
- SOS発信用の装置を実際に使用
- 災害用伝言ダイヤルの使用法確認
- 避難所の使い勝てなどの確認
- 近隣の人たちとのコミュニケーションを深める(自分の障害を理解してもらう)など

地域コミュニティの活用

- 公民館を拠点とした地域のつながり
- 自主防災組織、自治会等の連絡体制の強化
- 隣接する公民館等との連携強化
(体育館、運動場などの開放)

防災の心得

**災害から生き抜くために大事ななのは、
災害に対する**

「知識」と「心構え」と「実行力」

そして、

災害大国に住んでいるという「認識」

- 災害が発生することを想定して非常持ち出し品の準備、避難場所・避難経路の確認などを！
- 台風や大雨などはテレビ・ラジオなどで気象情報を入手し、危ないと感じたら早めに避難する！
- 広域に発生する災害に対しては、公的機関だけでは全てに対応できない
- 公助に頼るだけでなく、自分の命は自分で守るという「自助」、

地域住民で協力して助け合う「共助」が重要！

やり続けることが大事！



自分たちのまちを、自分たちで守る



**大規模災害に備えよう
みんなの助け合いで**